



アートやデザインに関する本を紹介していきます。

みなさん、はじめまして。4月から図書館の司書として働かせていただくことになりました正路です。みなさんが、楽しいな、すてきなと思う図書館を作っていきたいと思っています。みなさんどうぞよろしくお願いいたします。

さて、わたしの「司書の部屋」では、**アートやデザイン**に関する本を紹介していきます。アートやデザインと聞くと、みなさんは何を思い浮かべますか？ 絵やイラスト？ 建物？ 彫刻？ 身の回りには、アートやデザインがあちこちに眠っています。そんなアートやデザインに関する本をみなさんに少しずつ紹介していけたらなと思っています。

第1回目の今回は、オランダの絵本作家「**ディック・ブルーナ**」をとりあげたいと思います。ディック・ブルーナさんをみなさんはご存知ですか？ 世界でいちばん有名なうさぎ、ミッピー（うさこちゃん）を生み出した人です。ミッピーは今年で生誕60年、60歳を迎えます。もうミッピーはおばあちゃんなんですね～。日本では、「**ちいさなうさこちゃん**」（ディックブルーナ著 石井桃子訳）として出版され、今や絵本だけでなく、キャラクターとしても人気です。そんなミッピーを生み出したディック・ブルーナさんとどんな人なんだろう？ みなさんはディック・ブルーナさんを見たことがありますか？ 鼻の下のおひげがとてもかわいいおじいちゃんなんですよ。ディック・ブルーナさんは、絵本作家でもあり、グラフィックデザイナーでもあります。お父さんの経営する出版社のデザイナーとして、最初は広告やポスターをかいていました。そのあと、アートディレクターに就任し、そのあと会社をやめ、ミッピーを描くのです。そんなディック・ブルーナさんは、ミッピーの絵本を描くのに、いろんなこだわりをもっているんだそうです。なかでもわたしが印象に残っているのは、「ミッピーの輪郭の線はよくみると微妙にふるえている」ということです。それは、ディック・ブルーナさんがひとつひとつ集中して手がかいているからなのだそうです。ミッピーにはディック・ブルーナさんの愛情がたっぷりつまっているのだなと実感できた事柄でした。図書館には、ミッピーのこと、ミッピーを生み出したディック・ブルーナさんについて書かれた本がいくつかありますよ。図書館にきてひらいてみてください。

♪ディック・ブルーナさん、ミッピーのことが載ってるよ♪

- * 『ディック・ブルーナ ぼくのこと、ミッピーのこと』（講談社編 講談社）
- * 『ディック・ブルーナのデザイン』（芸術新潮編集部編 新潮社）
- * 『ディックブルーナの世界 パラダイス・イン・ピクトグラムズ』（エラ・ライツマ 今江祥智訳 駿々堂出版）
- * 『ブルーナミュージアム ミッピーのすべてがわかる』（白泉社）
- * 雑誌『月刊 MOE』2015年5月号「巻頭大特集 ブルーナの絵本」（白泉社）



ミッピーの本名は？ 誕生日は？
ディック・ブルーナさんが使う6色は何色？
どうしてミッピーの口はバツェンなの？
本をひらけばわかるかも・・・？

いってみよう♪
生誕60周年！ミッピー展
がやってくる！

日付：8月5日（水）～8月17日（金）
場所：神戸大丸ミュージアム